

## S G I 運動の記念すべき第一歩

1月26日はS G Iの日です。

1975(昭和50)年のこの日、世界51か国・地域158人のメンバーがグアムに集まって創価学会の世界平和会議が開かれました。

その席上、各国の創価学会の連合体であるS G I(創価学会インタナショナル)が結成されたのです。

そして、池田大作先生がS G I会長に就任し、ここに「平和」「文化」「教育」の旗を掲げたS G Iの記念すべき第一歩が印されました。

池田先生は、第三代会長に就任した1960(昭和35)年の10月、25日間の北・南米指導の旅に出ました。翌61年1月には、インド、東南アジアへ。そして秋にはヨーロッパ指導に赴き、62年1月には中近東にも行きました。

こうした海外指導の積み重ねによって生まれたのがS G Iでした。



世界平和会議の席上あいさつする  
池田大作先生

## 「全世界に平和の種を」

世界平和会議の、席上池田先生は、「全世界に妙法という平和の種をまいて、その尊い一生を終わってください。私もそうします」と呼びかけました。

この池田先生のスピーチに、万雷の拍手が鳴り響きました。“全世界に妙法という平和の種をまく”。この先生の誓いこそ、仏法の人間主義を広げゆくS G Iの原点となったのです。

## ● コラム

## 平和提言とS G I 憲章

池田大作先生は1983(昭和58)年以来、1.26「S G Iの日」を記念し、平和への提言を発表してきました。

冷戦期に「米ソ首脳会談」の開催を訴え、「教育国連」や「国連軍縮総会」「北東アジア共同体」を提唱するなど、地球的な諸問題への先見性あふれる考察と、解決への具体的アプローチに、世界の識者が注目しました。

S G Iは1995(平成7)年、その目的と原則を「S G I 憲章」として制定しました。前文と、それに続く10か条からなる「S G I 憲章」には、仏法を基調として、全人類の幸福と平和・文化・教育の発展に貢献しゆくことがうたわれています。

この理念のままに、各国のS G Iは災害支援や教育支援などの社会貢献活動にも取り組み、S G Iのメンバーは、日々、信仰に励みながら、職場や地域で輝く“よき市民”であることを目指しています。

現在、192カ国・地域の“地球市民の連帯”へと発展したS G I。メンバー一人ひとりの胸に輝く“太陽の心”が、地域を社会を、希望の光で照らしています。

■ S G I 憲章については、こちらをごらんください。

S O K A net > 創価学会インタナショナル > S G I 憲章

<http://www.sokanet.jp/sg/FWIM/sn/top/world-wide-soka/charter.html>

## ● 参考資料

- ・ 『人間革命』  
第12巻「涼風」「寂光」
- ・ 『新・人間革命』  
第21巻「S G I」
- ・ 『池田大作全集』  
第1巻  
第2巻  
第22巻